



世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような資料情報をご紹介します。

地域公共交通

最近の新聞記事から

「バス運転手『不足』9割 全国労組アンケート 路線維持の危機訴え」

(日本経済新聞 2025 年 11 月 4 日夕刊 9 面)

「JR 東、地方 36 路線 24 年度赤字 790 億円 維持費増が収支悪化」(東京新聞 2025 年 10 月 28 日朝刊 3 面)

「『交通空白』共同輸送拡大 国交省支援 地域の送迎車活用」(読売新聞 2025 年 9 月 29 日朝刊 2 面)

地域の過疎化・高齢化、利用客の減少、運送業の担い手不足等によって、地方の公共交通は大変厳しい状況に置かれています。県内では、2024 年 11 月に JR 東日本が久留里線の一部区間を廃止する意向を表明し、大きな話題となっています。公共交通の衰退は、交通空白地（駅やバス停が一定の距離の範囲内にない地域）の拡大や、高齢者や障害者といった交通弱者が不便になるなど、さまざまな影響を及ぼします。これを少しでも解消するべく、多くの自治体が公共交通の維持・活性化に取り組んでいます。千葉県では昨年 12 月に地域公共交通物価高騰対策支援事業として、バス・タクシー・地域鉄道事業者に対して 1 億 2 千万円の補正予算を編成しました。また、地域公共交通の再構築（[リ・デザイン](#)）を推進するための補助金申請も受け付けています。

本紙では地域公共交通の現状や課題、維持・活性化への取組について、関連する資料を紹介します。

書名・記事・論文名	出版情報・サイト情報等	
地域公共交通政策論 第2版	宿利正史編 東京大学出版会 2024 西部：6811/36	図書
地域交通をめぐる全般的な状況や、SUMP（持続可能な都市モビリティ計画）、デマンド交通といった政策・取組について解説。第3章ではヨーロッパの地域交通について、第4章から第6章ではバスなどの自動車、鉄道、海上、航空といった各種交通が抱える課題や取組を事例とともに紹介している。		
交通政策入門 第3版	衛藤卓也編著 同文館出版 2023 西部：6811/41	図書
経済学の視点から交通政策を考えるための入門書。交通に関する専門的な概念や知識、交通政策の必要性・方法をわかりやすく解説している。第13章「まちづくりと交通計画」では、近年の交通計画で重視されている住民を巻き込んだ合意形成について紹介している。		
公共交通政策	国土交通省 https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/index.html	Web 情報
国土交通省が行っている公共交通政策についてまとめたサイト。 関係法令等 のページでは、現行制度関連資料をまとめている。また、令和5年に改正された地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等についても解説している。		

全ての地域で誰もがアクセス可能な交通の提供に関する G7 各国の政策集	国土交通省 https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001737564.pdf <div>Web 情報</div>
各国で取り組んでいる公共交通政策、特に高齢者や障害者等、移動に障害を持つ人々への交通アクセスの改善について事例とともに紹介している。例えば、ドイツでは電子チケットを導入し、全ての公共交通機関を毎月定額で利用できるような仕組みを作っている。	
次世代へつなぐ地域の鉄道 国交省検討会提言を批判する	安藤陽編著 緑風出版 2023 西部：6861/13 <div>図書</div>
2022 年に公表された「地域の将来と利用者の視点に立ったローカル鉄道の在り方に関する提言」に対し、概要やローカル鉄道の活かし方について批判的な立場から意見をまとめている。また、提言で触れられていない内容についても取り上げている。提言の本文は 国土交通省のサイト から閲覧することができる。	
都市の未来を語る市長の会 Vol.25（2019 年度）	日本都市センター編集 日本都市センター 2020 中央：3187/108/25 https://www.toshi.or.jp/app-def/wp/wp-content/uploads/2020/04/reportm25.pdf <div>図書</div> <div>Web 情報</div>
「交通弱者対策（住民の移動手段の確保）」というテーマで、基調講演、事前アンケート、意見交換の様子を掲載。免許返納後の高齢者の交通手段や参加自治体の取組・課題について紹介している。	
特集 地域交通の担い手	『運輸と経済』（84 巻 8 号 2024. 8）p3-52 中央 <div>雑誌</div>
バスの運転手を中心に、地域交通の担い手不足についてさまざまな論考や事例が掲載されている。給与水準の低下、不規則な勤務体制、働き方改革、2024 年問題、自動運転など近年の交通業界をとりまく課題や政策を取り上げている。	
JR 久留里線(久留里・上総亀山間)沿線地域 交通検討会議	千葉県総合企画部交通計画課 https://www.pref.chiba.lg.jp/koukei/tetsudou/kururi/kentoukaigi.html <div>Web 情報</div>
JR 東日本が廃線を決定した、JR 久留里線の久留里～上総亀山地域の交通のあり方について検討することを目的に設置された会議。生活時間と鉄道ダイヤが合わない、買い物・通院時の自家用車の利用といった利用者の潜在的ニーズを把握し、今後の交通整備について議論がされている。	
MaaS が都市を変える 移動×都市 DX の最前線	牧村和彦著 学芸出版社 2021 西部：681/8 <div>図書</div>
さまざまな移動サービスを統合し、1つのサービスとしてアクセスできるようにする「MaaS」(Mobility as a Service) について解説。シアトルの「TransitGo」、パリの「Ville Du Quart D' Heure (15 分都市)」など、欧米の先進事例を紹介した上で、日本で実装する際のポイントについて整理している。	
地域公共交通の確保等に関する実態調査 結果報告書	総務省行政評価局 2022 中央：6811/50 https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/hyouka_040125000154460.html <div>図書</div> <div>Web 情報</div>
人口規模が小さく、過疎化・高齢化が進行し、厳しい財政状況にある市町村を対象に、令和元年 12 月～4 年 1 月にかけて行った実態調査の報告書。地域公共交通の確保等に積極的に取り組んでいる事例を取り上げており、多くの自治体でデマンド型交通を導入していることがわかる。	